



みにこみ7

発行：「みにこみ7」
編集委員会
事務局：代沢まちづくり
センター内
電話：(3413) 0513

地域の学校の今昔②

区立花見堂小学校

代沢地区の学校の今と昔にクローズアップして紹介していきます。シリーズ第2回目は、来年3月31日に閉校を迎える、創立57周年の花見堂小学校。着任5年目となる細川力校長に、お話をうかがってきました。



今

世田谷区の取り組みとして、少子化にともない花見堂小を閉校し、通学区域を、代沢小と山崎小に変更します。平成29年4月から平成31年度にかけて代沢小を改築し、その間の約2年間は、現花見堂小を代沢小の仮校舎として使用します。そして、平成31年度中に新校舎の代沢小に移ります。今年春に開催しました。

花見堂小の子どもたちは、一年生の時から一人ひとりが全児童の前に立って発表するなどの出番を多く設けています。六年生になるとアークアカデミーの留学生



現校舎（撮影日：平成28年5月13日）

細川校長は着任当時を振り返り話してくださいました。「わたしが花見堂小に着任した年（平成24年度）に閉校が決まりました。世田谷区で一番の小規模校が閉校を迎えるまで、自分は校長として何ができるのか。

との交流会や、ICT関連

会社の方をお招きして、ロボ

ットプログラミングを体験。そ

して小学校では珍しい職業体験も行います。どれもが、小規模校だからこそ

小規模校だからこそできる一人ひとり、個で見る大切さと、きめ細やかな指導。そして職員一同がこの良さを生かし最後まで子どもたちのために全力で取り組むチームとなつていこう」と。

そして今年には閉校にむけた新たな行事として、
・国士館大学生吹奏楽部による演奏会。
・劇団によるミュージカルの上演。

・創立57周年を記念しての子ども祭り（深沢高OB会

和太鼓や、午後には、PTA

主催による初めてのバーベ

キュー大会ときもだめし、

そして体育館でのお泊り会

・閉校式後のお別れ会の時

には、山崎小で作成した手漉

き和紙の閉校証書を子ども

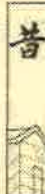
たち一人ひとりに授与し、そ

の後国立高OB吹奏楽団の

演奏会も予定しています。

最後に「残りわずかな一日一日を大切に、子どもたちの思い出作りをしていま

つていました。（現在花見堂小は各学年1クラスずつの143名です。）
（卒業生保護者）
（渡邊 真弓）



開校当時の状況

当時の小学校は、戦後のベビーブーム（団塊の世代）の子ども達であふれかえっている状況でした。

このため、昭和33年9月花見堂小学校の前身である若林小学校分校が開校し、この時の児童数は、一、四

年生で450名（若林小より297

名、代沢小より153名）でした。

この年の10月、開校記念

大運動会が行われましたが、

当時の校庭は赤土で、デコ

ボコしていて整備が遅れて

いたため、若林小学校の校

庭を借りて行われました。

また、10月31日には、落成開校記念式・展覧会が行

われ、この日が開校記念日

となりました。

校名の由来

花見堂小学校の校名の由来は、昔の代田村のこの地（現在の代田南児童館の辺り）に昔のお役人の屋敷で花見などの催しを行う堂屋敷があり、花見堂の地名があったことから選ばれました。

尚この際に、地域の人の話では校名募集があったそうです。

校舎の遷り変わり

当時の校舎は世田谷区内初の鉄筋の校舎で、水洗トイレが完備され児童にとつて嬉しいことでした。

この後、児童数の増加とともに校舎も増築され、教室数は当初の7室から2年間で17室になりました。

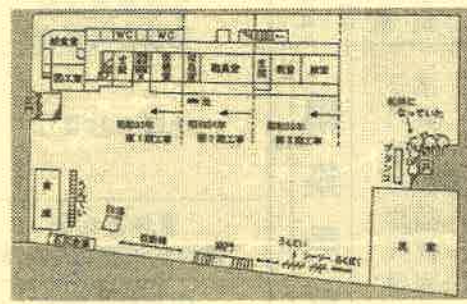
また、開校当時は、現在の体育館とプールの位置に民家が1軒残っていてプールがないため、夏は代沢小、多聞小、若林中などのプールを借りていました。

東京都世田谷区立花見堂小学校

「東京都」が文頭についた開校当時の貴重な校札



プール付き体育館が完成した頃の校舎全景



運動場が2ヶ所に分かれていた校庭

（第一期卒業生）

（萩原 一俊）